

# まちづくりに関わる各種統計と選挙投票率の関係

18191016 望月龍之助

まちづくりと選挙投票率には関係性があるのかを調査した。まちづくりにはその地域の地理的特徴以外にも人の関わる統計が多く存在する。選挙に行くことによって私たちの住むまちは良くなっているのかという疑問が今回の調査の背景である。

本調査では東京都 23 区を調査対象地域とし、23 区のまちづくりにおける各種統計と平成 31 年に行われた 23 区議会議員選挙のデータをもとに相関関係の有無を明らかにした。まちづくりに関わる各種統計には犯罪認知件数、緑、地価の平均価格、街路灯等の設置状況、ゴミの収集及び処分状況、交通事故発生件数の 6 項目を用いる。これらの各種統計から見られる地域の特徴については第二章で考察した。

第三章では第二章で考察したデータと選挙投票率のデータの相関関係について調査した。この調査から、犯罪認知件数と交通事故発生件数に相関関係があり、選挙投票率が高い地域ほど犯罪認知件数と交通事故発生件数が少ない傾向にあるという結果が得られた。

本調査を通してまちづくりと選挙投票率には関係があることが分かり、その原因には住民のより良い住みやすいまちに住みたいという意思が関わっており、その思いがまちづくりに表れているのではないかと考察した。